

2 . 現状把握

2.1 現状駅周辺地域の問題点

2.1.1 人口の増加と交通機関利用状況の推移

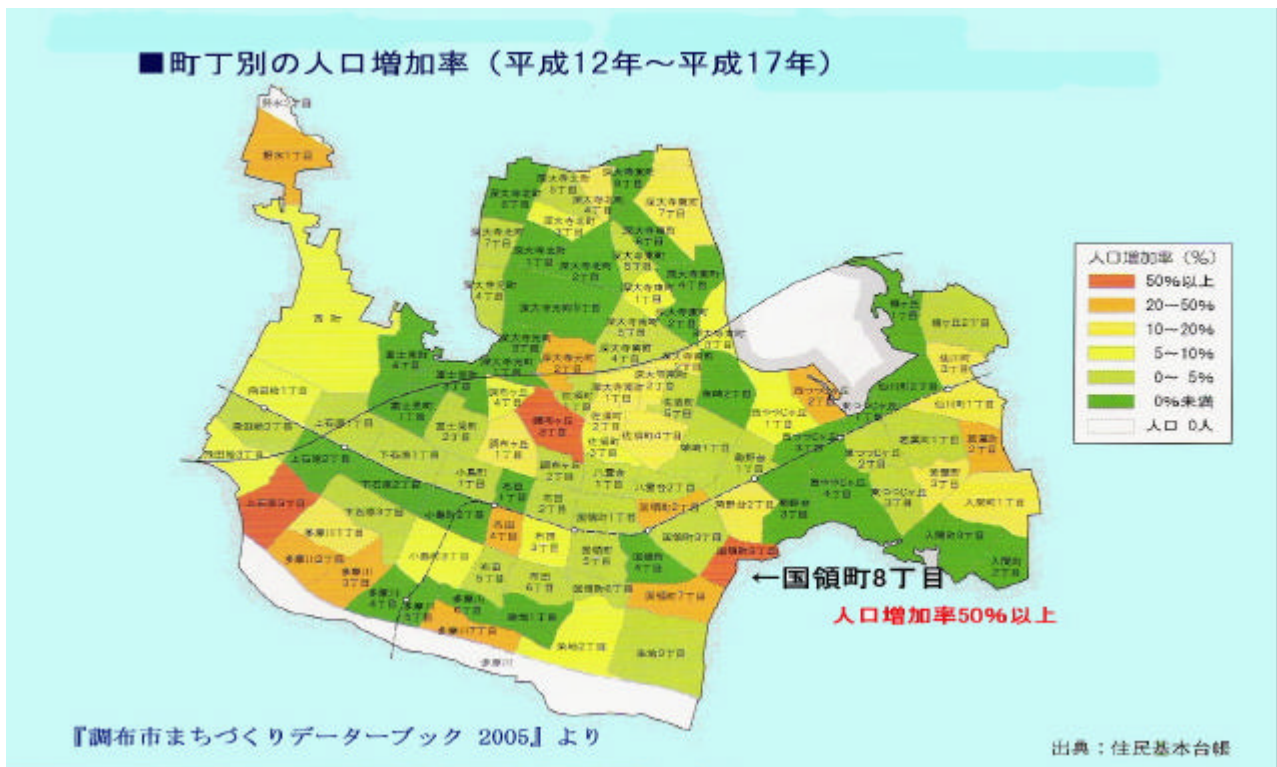
平成 18 年（2006）1 月 1 日現在の調布市全域の人口は 213,009 人（外国人登録を含む）・103,406 世帯となっている。前年同期は 211,709 人・102,233 世帯なので約 0.6%の伸びである（平成 16 年の人口は 208,040 人）。このなかで国領町を見ると、平成 18 年 24,527 人、平成 17 年 23,894 人、平成 16 年 22,408 人となっている。対前年同期で約 2.6%、対前々年で約 9.5%となる。このとき調布市全域で約 2.4%なので、町別に見ても極めて高い増加率といえる。平成 12 年と比べた『調布市まちづくりデータブック 2005』の人口増加率の図からは 5 年間の推移が見てとれ、実に 50%を超えていることがわかる（【参考資料】）。なお、平成 18 年の数字は市民課「町丁別世帯数及び人口報告表」による。また、町別人口構成で絶対数においても市域第 1 位で約 11.5%を占めている。

これは、この 2 年間でも継続して高い率の人口流入があったことを示し、引き続きこの傾向が続くと思われる。京王線国領駅利用者の増加が平成 17 年の中間においても、高い伸び率を記録していることがそれを示している（【参考資料】）。因みに、2004 年度の京王電鉄全線の 1 日の駅乗降人員は 3,307,895 人（2003 年度 3,302,741 人）（『2005 会社要覧』）であるが、対前年度 5,154 人の増加のうち調布市沿線 9 駅の増加は約 70.3%に当たる 3,623 人で、内国領はその 40.3%に及ぶ 1,461 人となっている。国領駅の 1 日の駅乗降客数は 2004 年 33,289 人、2005 年度中間で 35,340 人で、2000 年度と比較すれば 118.0%、1998 年度（28,476 人）と比較すれば 124.1%という沿線 9 駅第 2 位の伸び（第 1 位の飛田給は現・味の素スタジアムによる）を示している。

この背景には、国領駅周辺の都市基盤整備の進捗、官・民による住宅開発、南・北の市街地再開発事業の完成を機にした駅前広場の整備、また広場に面した商業利用の進展等、また公共公益施設として南に子ども家庭支援センター、国領駅南口市営駐車場、北に市民活動支援センター、産業振興センター等、さらに在来の調布警察署をはじめ調布郵便局等の公的機関並びに在宅介護支援センター等の集中、既存の集合住宅の立地や建替えの促進といった状況がある。老若幅広い人口増はもとより、今後の京王線連続立体交差事業の進展により、さらなる人口増と来街者の増加等が予想される。

また、国領駅には周辺で唯一の南北を連絡するバス路線があり今後のバス交通も注目されるところである。(2000年10月時点では、バス乗車1日180人、降車217人となっている。)『調布市統計書』(平成15年度版)によれば、小田急バス「境91系統」(狛江駅～武蔵境駅南口)全線31停留所のうち調布市内は14停留所があり、平成14年度で全線9,707人を輸送している。

【参考資料】



【参考資料】

京王線・調布市沿線9駅の1日の乗降客数の推移

和 暦	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年中間	伸び率	参 考	平成16年
西 暦	2000	2001	2002	2003	2004	2005		新宿	710,903
調 布	106,259	108,354	108,041	108,164	108,438		102.1%	渋谷	332,102
仙 川	59,279	61,677	63,633	66,179	66,887	67,780	114.3%	明大前 (乗換を含む)	168,215
つげヶ丘	43,864	44,026	43,735	44,217	44,252		100.9%	吉祥寺	142,522
国 領	29,948	31,136	31,102	31,828	33,289	35,340	118.0%	下北沢	126,487
柴 崎	17,721	17,508	17,257	17,051	17,074		96.3%	調布	108,438
京王多摩川	16,537	16,623	16,672	16,328	16,586		100.3%	府中	81,425
飛 田 給	13,068	16,590	17,767	18,478	19,091		146.1%	多摩センター	79,894
西 調 布	16,205	15,923	15,629	15,684	15,782		97.4%	笹塚	77,597
布 田	13,994	14,024	14,208	14,472	14,625		104.5%	千歳烏山	71,991

国領 仙川は平成17年中間(4月～9月)/平成12年、他は平成16年/平成12年の伸び率

2.1 現状駅周辺地域の問題点

2.1.2 駅周辺のまちの問題点（1）

「鉄道敷地利用検討会」で示された「京王線連続立体交差にともなう沿線まちづくりアンケート調査」の結果報告によれば、各駅周辺のまちの問題点と課題では、「安心して歩ける歩道が少ないこと」の41.5%が一番多く、次いで「大通りから一步入ると、道路が狭いこと」の30.1%、「駐車場が少ない、または使いづらい」の25.9%と続いているとある（【参考資料】）。

国領駅周辺地域においては、調査時点では南口の駅前広場と区画街路は整備されていたものの、北口においては工事中のときであったため、数字上の時点修正が必要であるが、結果報告にあるような方向は概ね変わらないと思われる。歩道・駐車については、まだ途上ではあるものの改善されてきているが、駐輪、とくに放置自転車については極論すれば今も変わっていない、むしろ区画街路・歩行者専用道路・広場が整備されたことで顕在化しているとも言える。

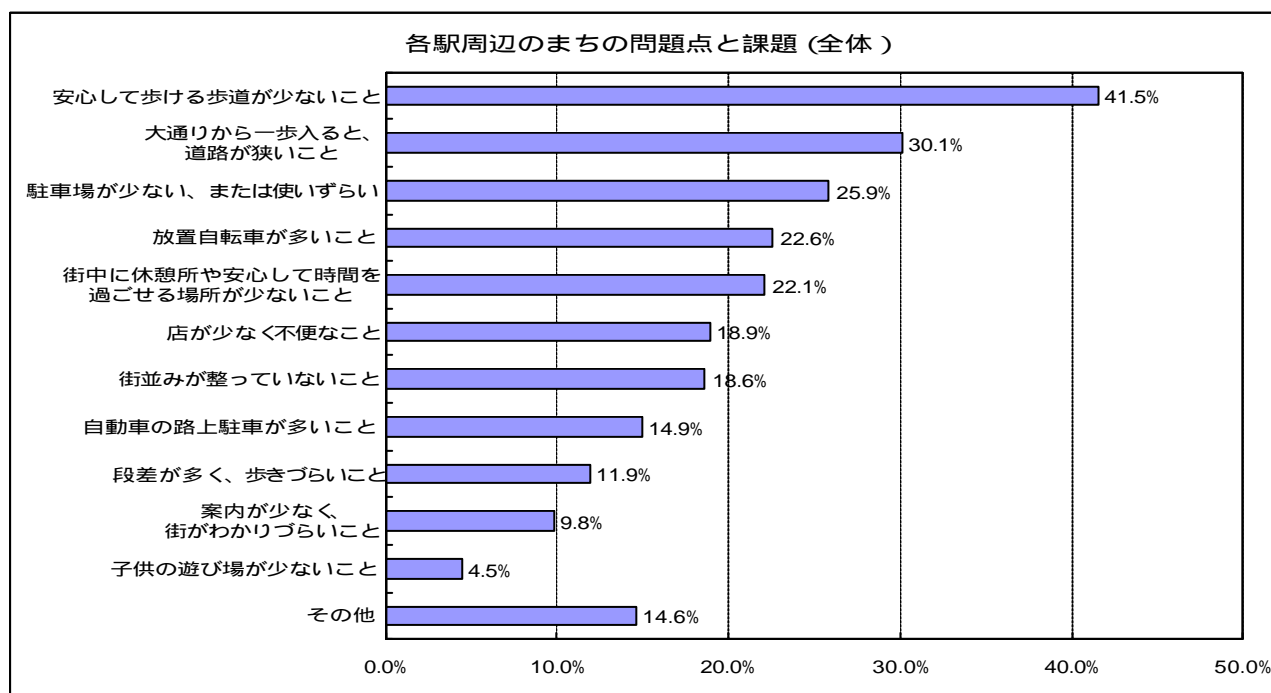
その結果、安心して時間を過ごせる場所が少ないという実感、案内誘導等が少なく街そのものがわかりにくい、商業の活性化に必要な店が少ない、といった声が出ている。

【参考資料】

各駅周辺のまちの問題点と課題

複数回答

選択肢	調布駅 周辺地区		布田駅 周辺地区		国領駅 周辺地区		全体	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
安心して歩ける歩道が少ないこと	223	39.5%	203	47.4%	158	38.1%	584	41.5%
大通りから一步入ると、 道路が狭いこと	137	24.3%	148	34.6%	138	33.3%	423	30.1%
駐車場が少ない、または使いず らい	230	40.8%	55	12.9%	80	19.3%	365	25.9%
放置自転車が 多いこと	244	43.3%	30	7.0%	44	10.6%	318	22.6%
街中に休憩所や安心して時間を 過ごせる場所が少ないこと	130	23.0%	85	19.9%	96	23.1%	311	22.1%
店が少なく不便なこと	33	5.9%	148	34.6%	85	20.5%	266	18.9%
街並みが整っていないこと	88	15.6%	96	22.4%	77	18.6%	261	18.6%
自動車の路上駐車が 多いこと	156	27.7%	26	6.1%	27	6.5%	209	14.9%
段差が多く、歩きづ らいこと	75	13.3%	44	10.3%	49	11.8%	168	11.9%
案内が少なく、 街がわかりづ らいこと	46	8.2%	44	10.3%	48	11.6%	138	9.8%
子供の遊び場が 少ないこと	19	3.4%	18	4.2%	27	6.5%	64	4.5%
その他	50	8.9%	74	17.3%	81	19.5%	205	14.6%
不明・無回答	41	-	177	-	190	-	408	29.0%
合計(無回答を除く有効回答数)	564	-	428	-	415	-	1,407	-



2.1 現状駅周辺地域の問題点

2 . 1.2 駅周辺のまちの問題点（ 2 ）

また、このことは駅と駅周辺のバリアフリーに関しても指摘されていることである。以下に、調布市が主に高齢者、身体障害者等（妊産婦、ベビーカー使用者を含む）、その他の市民等を対象に行った「調布市交通バリアフリーアンケート調査結果」（配布票数約1,500票、回収623票）より引用しておく（【参考資料】）。アンケートの主な確認のひとつとして駅及び駅周辺の問題点を調査したところ、駅そのもの（旅客施設）と駅周辺の道路に大別されるが、とくに移動のしやすさ・案内のわかりやすさ・設備の使いやすさ、道路・交差点・横断歩道の利便性、標識・マークなど案内のわかりやすさを求める声が強い。今後、このようなアンケート結果を生かした基本構想がつけられ、まずは連立事業の中で確実に実現されていくことを期待したい。

またさらに、調布市自転車等駐車対策協議会では有料・無料の自転車駐車施設調査アンケートや放置自転車実態調査アンケートを実施していると聞くが、「調布市自転車対策総合計画」の策定にしっかりと反映していただきたい。

これらを要するに、ひとが安心して暮らせる、わかりやすくひとにやさしい、にぎわいとやすらぎのまちという「中心市街地」の目標に、地域として大きく近づいていくことと言えようか。

【参考資料】

国領駅 利用者特性別移動のしやすさ

- ・ 障害者（肢体不自由者 11 人・視覚障害者 1 人・聴覚，言語障害者 6 人・内臓機能障害者 2 人）の場合，便利とも不便とも感じられている。
- ・ 障害別にみると，肢体不自由者では 11 人中 6 人の方が便利または非常に便利と感じている。
- ・ 65 歳以上の場合 26 人中 10 人（38%）の方が不便または非常に不便と感じている。
- ・ ベビーカー使用者の場合，9 人全員の方が不便または非常に不便と感じている。
- ・ 肢体障害者には便利または非常に便利と感じられているが，高齢者，ベビーカー使用者には不便と感じられている。

国領駅 わかりやすさ

- ・ 障害者（肢体不自由者 11 人・視覚障害者 2 人・聴覚，言語障害者 6 人・内臓機能障害者 1 人）の場合，20 人中 8 人（40%）の方がわかりづらまたは非常に分かりづらと感じている。
- ・ 65 歳以上の場合，26 人中 8 人（31%）の方がわかりやすいまたは非常に分かりやすいと感じている。

国領駅 設備の使いやすさ

- ・ 障害者・65 歳以上・ベビーカー使用者はともに 40%以上，使いづらまたは非常に使いづらと感じている。

国領駅周辺の歩道の利便性

- ・ 障害者・65 歳以上・ベビーカー使用者はともに 35%以上が不便または非常に不便と感じている。
- ・ 特にベビーカー使用者の 9 人中 6 人（67%）が非常に不便と感じている。

国領駅周辺の交差点・横断歩道の利便性

- ・ 障害者，ベビーカー使用者で不便を感じる傾向が強い。

国領駅周辺の案内のわかりやすさ

- ・ 障害者全体でわかりづらと感じる人が多く，特に視覚障害者は非常にわかりづらと感じている（2 人）